

第99期 報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日まで

BUSINESS REPORT

ヒートアイランド問題を
国任せにしては
いけないと、
小松精練は考えます。

日本全国の皆様へ。
緑の地球へと戻していく
エコロジーセラミックス「グリーンビズ」で、
あなたの街を“エコシティ”へと
変えていきたいと思います。



新しい **greenbiz** が誕生 “ビル冷セラミックス”
グリーンビズ ひや

無機質・無害の素材を使用

リサイクルが
可能な不燃材

高温焼成した無機質・無害の素材を使用するため燃えることがなく、ご利用後の残材、破砕片は細かく砕いて土壌に戻すことができます。

染色排水の浄化過程で発生し、処分されていた廃棄物（バイオマスケーキ）を地元産の珪藻土と粘土と混ぜ合わせ1000℃以上の高温で焼成した多孔性スポンジ状セラミックス基盤です。



株主の皆様へ

株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。ここに小松精練株式会社の第99期才2四半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長と需要拡大に伴う輸出拡大や、政府の景気刺激策等により、一部に景気の持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧州財政の信用不安や米国経済の回復懸念などによる急速な円高進行や株価低迷等により、景気の先行き不透明感が払拭できず、雇用情勢や個人消費は低迷し、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは攻めの姿勢を崩さず、反転拡大を目指し、市場セグメンテーションに基づいた商品戦略の強化と、積極的な展示会の開催等による新規市場開拓、及び多角化に向けた新規事業などに経営資源の投入を行いました。同時に激変する環境変化に対応したグローバル最適生産・最適販売を加速させ、経営全般にわたる一層の効率化をはかり利益体質の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、17,576百万円（前年同期比5.6%増）となり、営業利益は793百万円（前年同期比45.8%増）、経常利益は942百万円（前年同期比31.0%

増）、四半期純利益は692百万円（前年同期比27.9%増）となりました。



今後の見通しにつきましては、長期化する為替低迷や、円高の定着による輸出環境の悪化も懸念され、経済環境の速やかな好転は見込めず、予断を許さぬ厳しい状況が続くと予想されます。

このような環境下、当社グループは引き続き“攻めの姿勢”を崩さず、コスト・為替要因に左右されない商品力・販売力を強化し、差別化商品の開発と市場導入を加速化させ、マーケットの拡大を進めてまいります。同時に世界規模で押し寄せてくる市場の変化に対応すべく、グループ企業のさらなる連携を強化し、より柔軟な開発体制と生産体制の両輪で収益基盤の強化を目指してまいります。

以上により、当連結会計年度通期の業績につきましては、5月11日に公表した業績予想である売上高330億円、営業利益11億円、経常利益13.5億円、当期純利益9.3億円を据え置きます。



当社グループはこの苦難の時を「オール営業の精神」に基づき「全てはお客様のために」という謙虚な気持ちでお客様と真摯に向き合い、お客様から必要とされる企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努める所存であります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

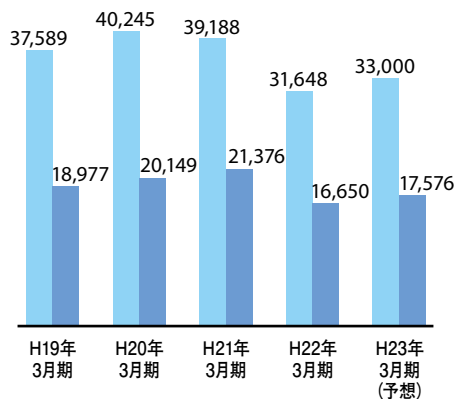
代表取締役社長 蓮本 英信

財務ハイライト

売上高

(百万円)

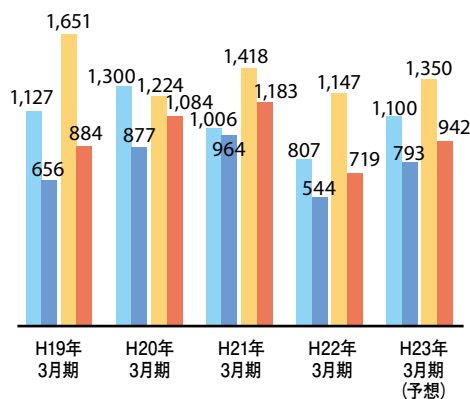
売上高 (通期)
売上高 (第2四半期)



営業利益・経常利益

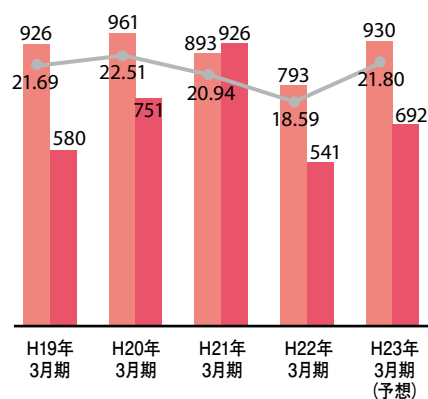
(百万円)

営業利益 (通期)
営業利益 (第2四半期)
経常利益 (通期)
経常利益 (第2四半期)



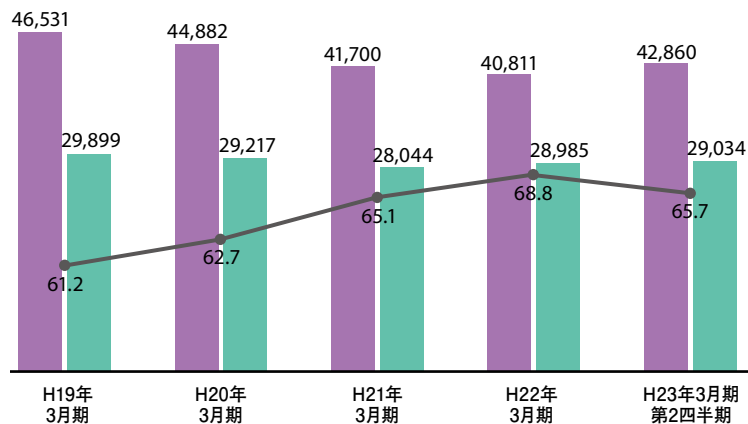
当期純利益・1株当たり当期純利益

当期純利益 (通期) (百万円)
当期純利益 (第2四半期) (百万円)
1株当たりの当期純利益 (通期) (円)



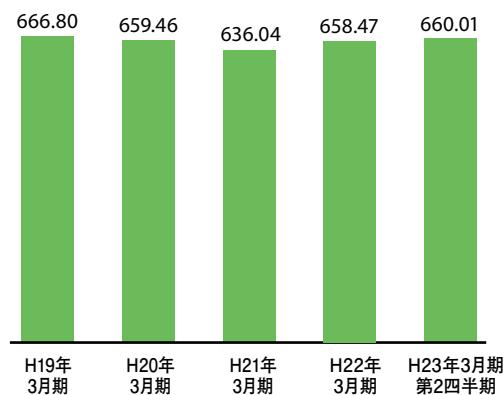
総資産・純資産・自己資本比率

総資産 (百万円)
純資産 (百万円)
自己資本比率 (%)



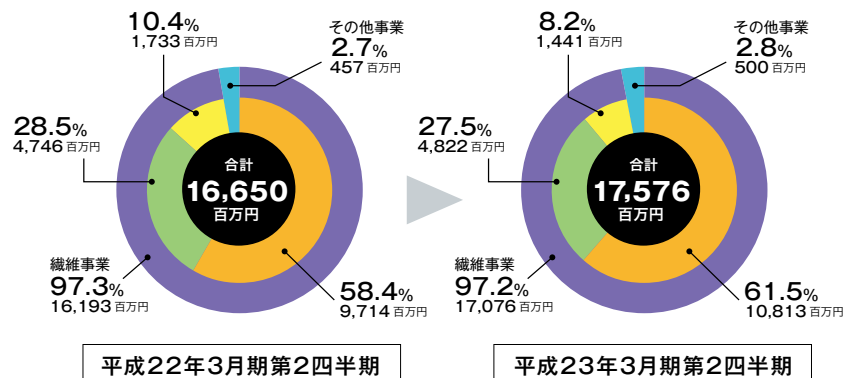
1株当たり純資産

1株当たり純資産 (円)



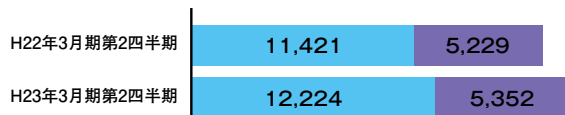
事業別売上状況

■ 衣料ファブリック部門 ■ 資材ファブリック部門 ■ 製品部門



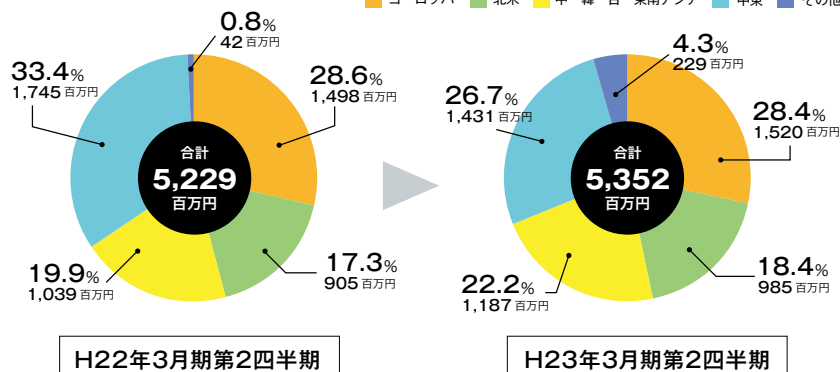
消費地別売上状況

■ 国内 ■ 海外 単位: 百万円



海外売上高の内訳

■ ヨーロッパ ■ 北米 ■ 中・韓・台・東南アジア ■ 中東 ■ その他



事業別売上状況

平成22年4月1日から平成22年9月30日

■ 繊維事業

衣料ファブリック部門は、「ルガーノ」、「モナリザ」、「カルバック」、「ハニービンテージ」など当社が得意とする高感性・高機能素材群がファッション分野で国内外問わず順調に拡大しました。またスポーツ分野では、海外で苦戦するも国内では健康志向の高まりから順調に推移し、素材では「エアシャットNT」を中心とした機能性ニット素材が大幅に拡大し、前年同期比増収となりました。

資材ファブリック部門は、政府の景気刺激策により国内自動車販売台数が堅調に推移したため、車両分野が拡大しました。しかしながら汎用カーテン・寝具からの戦略的縮小によりリビング分野が減少し、前年同期比微増収となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高は前年同期比5.5%減の170億76百万円となりました。

■ その他事業

物流分野、並びに物販分野が堅調に推移し、その他事業の売上高は前年同期比9.4%増の4億99百万円となりました。

消費地別売上状況

平成22年4月1日から平成22年9月30日

■ 国内売上高

衣料ファブリック部門では、積極的に市場投入をはかった当社が得意とする高感性・高機能差別化素材群が、ファッション・スポーツ共、順調に拡大しました。さらに資材ファブリック部門では、車両販売台数の回復に伴う車両分野が拡大し、また医療福祉分野で機能性特殊ニット素材や衛生材などが堅調に推移しました。以上の結果、国内売上高は前年同期比7.0%増の122億24百万円となりました。

■ 海外売上高

欧州向けは、為替に負けない商品開発と積極的な展示会開催等により高感性・高機能素材群の量的拡大をはかり、ファッション衣料を中心に堅調に推移しました。また、経済成長が著しい中国・韓国・台湾をはじめとする東アジア向けは、高感性・高機能素材群を中心に大幅拡大しました。一方、中東向けはドバイを中心とした市況回復の遅れの影響で減少し、海外売上高は前年同期比2.4%増の53億52百万円となりました。

TOPICS



スポーツファブリックコレクション（大阪）

スポーツ展 開催 ▶2010年8月

注目の高まる“高感性高機能素材群”を提案

最近のスポーツアパレルは、ファッション性と機能性が融合した素材への関心度が高まる傾向にあります。そこで当社では満を持して、およそ10年ぶりとなる「スポーツファブリックコレクション」を大阪・東京で開催しました。

展示会ではデジタルプリントファブリック「モナリザ」や、最上質漆調素材「ルガーノ」

に代表されるファッション性の高い加工技術と機能加工を融合させた“高感性高機能素材群”をおよそ300点提案しました。開催期間中、スポーツアパレルのみならずファッションアパレルからも数多くご来場いただき、業界が注目する展示会となりました。

欧州展示会 ▶2010年9月

斬新なファブリックが高評価！

イタリア・ミラノでの個展開催や、世界最高峰の服飾見本市「ブルミエール・ヴィジョン」（パリ）への出展など、小松精練は今シーズンも欧州市場に向けた積極的な投資を行い、商品提案とマーケットの拡大をはかっています。

中でも、当社にとって16回目の出展となる「ブルミエール・ヴィジョン」では、新たに発表したアンティーク調加色ムラ染め素材「サー

フビンテージ」や、デジタルプリントファブリック「モナリザ」など、素材の質感を活かした斬新なファブリックが高く評価され、6,000点を超えるサンプル依頼をいただきました。当社はこれからもトップメゾンに魅了させる技術力と提案力で、世界中の人々から選ばれる素材作りに専念していきます。



ブルミエール・ヴィジョン（パリ）



メッセナゴヤ2010（名古屋）

小松精練の環境技術を世界にアピール ▶2010年11月

新しいグリーンビズ「ビル冷セラミックス」をメッセ名古屋、GARDEX 展に出展

超微多孔発泡セラミックス基盤「グリーンビズ」のさらなる性能を追求し、ヒートアイランド現象の緩和に貢献する新しいグリーンビズ「ビル冷セラミックス」を「メッセナゴヤ2010」（名古屋）、並びに「第4回国際ガーデンEXPO GARDEX2010」（幕張）に出展しました。

両展示会を通じて合計2,000名を超える多くの来場者から、具体的な見積りやサンプルの請求があるなど、熱の入った商談が行なわれました。また、メッセ名古屋では開催中のCOP10の関係者も多く来場され、当社の環境技術を世界にアピールすることができました。

新商品紹介

ストレッチ素材の機能革命 ▶ 2010 年 8 月

「エアシャットV」

「エアシャットV」は、小松精練がお客様より「アウター向けの着心地のいい機能性ストレッチ素材を開発して欲しい」という高い要望を受け、約2年の開発期間を経て完成した素材です。

従来の防風性を謳うニットなどのストレッチ商品は、生地が伸びた際、防風性が低下し、特に運動時に“寒さを感じる”という問題点がありました。そこで、新開発した伸縮性の高い特殊ウレタン樹脂を小松精練独自の手法でコーティングし、伸縮性

と通気性、防風性とソフトな風合いを兼ね備えた、微多孔質透湿防風薄膜素材「エアシャットV」を完成させました。

「エアシャットV」は、冬用アウターの寒さと着心地という2つの課題を解消した“ストレッチ素材の機能革命”と称され、すでに、この秋冬向けの素材として、スポーツアパレルのみならずファッションアパレルからも多くの受注をいただいています。



エアシャットV

匠の技から生まれたアンティーク調加色ムラ染め素材 ▶ 2010 年 9 月

「サーフビンテージ」

小松精練は、合織でありながらナチュラルなムラ感やアンティーク調のウォッシュ感を表現可能とする画期的な染色技法を開発し、「サーフビンテージ」のブランドで全世界に向けて発表しました。

従来の製品洗いの手法では、顔料を使用しているため堅牢性が悪く、また洗いによる生地へのダメージが大きいため、加工可能な素材が制限されるといった問題がありました。そこで、逆転の発想から、徐々に染料を加えながら自然なウォッシュ感の表現を可能とする「加色染色技術」を独自

に確立させました。この技術を応用することで、生地の状態でもアンティーク調のウォッシュ表現が可能となり、今まで加工不可能だった薄地素材への表現も可能となりました。

9月、世界的見本市「ブルミエールヴィジョン（パリ）」で発表したところ大きな反響を呼び、現在国内外のトップメゾンから多くの引き合いが寄せられています。これからも小松精練は、市場が求める斬新な素材開発を進め、さらなるマーケットの開拓を進めていきます。



サーフビンテージ

連結貸借対照表の要旨

平成22年9月30日現在

資産の部

科 目	金 額
■ 流動資産	26,254
現金及び預金	6,984
受取手形及び売掛金	9,187
有価証券	5,420
たな卸資産	4,220
繰延税金資産	158
その他	376
貸倒引当金	△ 93
■ 固定資産	16,605
[有形固定資産]	8,331
建物及び構築物	3,344
機械装置及び運搬具	2,652
土地	2,132
その他	202
[無形固定資産]	240
[投資その他の資産]	8,033
投資有価証券	6,375
繰延税金資産	1,500
その他	179
貸倒引当金	△ 22
資産合計	42,860

負債の部

科 目	金 額
■ 流動負債	9,383
支払手形及び買掛金	6,856
短期借入金	509
未払法人税等	102
賞与引当金	342
その他の引当金	350
その他	1,221
■ 固定負債	4,442
退職給付引当金	3,895
役員退職慰労引当金	391
繰延税金負債	63
その他	91
負債合計	13,825

純資産の部

科 目	金 額
■ 株主資本	28,563
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	19,376
自己株式	△ 213
■ 評価・換算差額等	△ 406
その他有価証券評価差額金	△ 228
為替換算調整勘定	△ 178
■ 少数株主持分	877
純資産合計	29,034
負債・純資産合計	42,860

単位：百万円

連結損益計算書の要旨

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

単位：百万円

科 目	金 額
■ 売上高	17,576
売上原価	14,342
売上総利益	3,233
販売費及び一般管理費	2,440
■ 営業利益	793
営業外収益	244
受取利息及び配当金	69
持分法投資利益	110
その他	64
営業外費用	95
為替差損	87
その他	8
■ 経常利益	942
特別損失	99
固定資産除却損	6
投資有価証券評価損	92
その他	0
■ 税金等調整前当期純利益	843
法人税、住民税及び事業税	85
法人税等調整額	49
少数株主利益	15
■ 四半期純利益	692

連結株主資本等変動計算書の要旨

単位：百万円

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成22年3月31日残高	4,680	4,720	18,939	△ 212	28,128	94	△ 128	△ 34	891	28,985
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 255		△ 255					△ 255
当期純利益			692		692					692
自己株式の取得				△ 1	△ 1					△ 1
その他			△ 0	0	0	△ 323	△ 49	△ 372	△ 13	△ 386
当連結会計年度中の変動額合計			436	△ 1	435	△ 323	△ 49	△ 372	△ 13	49
平成22年9月30日残高	4,680	4,720	19,376	△ 213	28,563	△ 228	△ 178	△ 406	877	29,034

キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

科 目	金 額
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,692
税金等調整前当期純利益	843
減価償却費	633
引当金の増減額（減少：△）	183
売上債権の増減額（増加：△）	△ 1,508
仕入債務の増減額（減少：△）	1,531
たな卸資産の増減額（増加：△）	△ 183
法人税等の支払額	△ 228
その他	421
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,542
固定資産の取得による支出	△ 303
定期預金の預入・払戻（預入：△）	△ 2,560
有価証券の取得・売却（取得：△）	△ 811
投資有価証券の取得・売却（取得：△）	△ 12
その他	143

科 目	金 額
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 253
短期借入金の純増減額（減少：△）	3
配当金の支払額	△ 255
その他	△ 1
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10
■ 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△ 2,114
■ 現金及び現金同等物の期首残高	6,139
■ 現金及び現金同等物の期末残高	4,025

貸借対照表の要旨

平成22年9月30日現在

単位：百万円

資産の部

科 目	金 額
■ 流動資産	21,533
現金及び預金	5,146
受取手形及び売掛金	6,685
有価証券	5,390
たな卸資産	3,139
関係会社貸付金	980
繰延税金資産	141
その他	124
貸倒引当金	△ 74
■ 固定資産	15,262
[有形固定資産]	5,373
建物及び構築物	2,291
機械装置及び運搬具	1,429
土地	1,516
その他	135
[無形固定資産]	55
[投資その他の資産]	9,833
投資有価証券	4,327
関係会社株式	3,949
繰延税金資産	1,441
その他	127
貸倒引当金	△ 12
資産合計	36,795

負債の部

科 目	金 額
■ 流動負債	6,092
支払手形及び買掛金	5,269
未払法人税等	55
賞与引当金	262
その他	504
■ 固定負債	4,095
退職給付引当金	3,643
役員退職慰労引当金	391
その他	60
負債合計	10,188

純資産の部

科 目	金 額
■ 株主資本	26,834
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	17,646
自己株式	△ 213
■ 評価・換算差額等	△ 226
その他有価証券評価差額金	△ 226
純資産合計	26,607
負債・純資産合計	36,795

損益計算書の要旨

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

単位：百万円

科 目	金 額
■ 売上高	13,871
売上原価	11,505
売上総利益	2,366
販売費及び一般管理費	1,943
■ 営業利益	422
営業外収益	114
受取利息及び配当金	77
その他	37
営業外費用	86
為替差損	86
その他	0
■ 経常利益	450
特別利益	5
貸倒引当金戻入額	5
特別損失	96
固定資産除去損	4
投資有価証券売却損	92
その他	0
■ 税金等調整前四半期純利益	359
法人税、住民税及び事業税	45
法人税等調整額	55
■ 四半期純利益	258

発行済株式数・株主数

発行済株式数 43,140,999 株

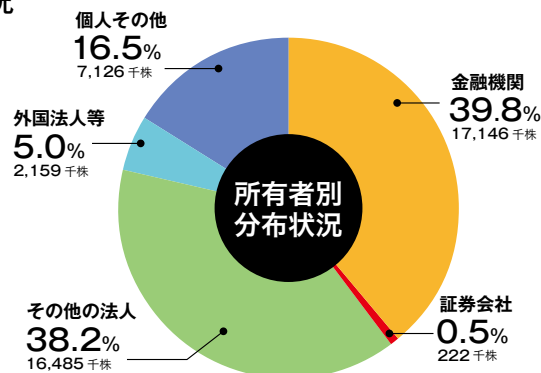
株主数 3,484 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.21%
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.95%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,864 千株	4.37%
第一生命保険株式会社	1,550 千株	3.63%
日本生命保険相互会社	1,467 千株	3.44%
小松精練松栄会	1,375 千株	3.22%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,318 千株	3.09%
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.96%
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.93%
住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.88%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



役員・執行役員

平成22年11月30日現在

役 職	氏 名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	蓮本 英信
取締役専務執行役員	石倉 幸雄
取締役専務執行役員	高木 泰治
取締役常務執行役員	池田 哲夫
取締役上席執行役員	橋爪 諭
取締役上席執行役員	山竹 俊樹
取締役執行役員	奥谷 晃宏
取締役執行役員	尾野寺 賢
取 締 役	橋本 和司
取 締 役	天雲 一裕
取 締 役	尾川 勝也
監 査 役	竹内 和也
監 査 役	本谷 佑久
監 査 役	香川 裕行
監 査 役	割出 雄一
執行役員	折本 忠
執行役員	中山 大輔
執行役員	向 潤一郎
執行役員	米谷 俊泰

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417
URL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/ service/daiko/index.html
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html 上記ホームページの「電子公告」をクリックして下さい。 ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増・買取について

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、単元株に不足する数の株式を当社から買増して単元株とすることができます。また、ご所有の単元未満株式の買取を当社にご請求することもできます。ご希望の場合、証券会社等の口座管理機関に口座を開設されている株主様は証券会社等宛に、特別口座にて管理させていただいている株主様は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行宛（上記の電話照会先）にお申し出ください。なお、手数料はいずれも無料となっております。

会社の概況

商号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地
本社工場	同上
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地 1
大阪営業所	大阪市中央区本町 2丁目 5番7号（大阪丸紅ビル 4階）
東京営業所	東京都中央区銀座 3丁目 9番 7号（トランス銀座ビルディング 8階）
北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地（小松精練株式会社 本社 2階）
上海事務所	中国・上海市延安西路2200号（上海国際貿易センター1913号）

グループ企業

小松精練（蘇州）有限公司 染色加工	中国・江蘇省蘇州市
株式会社ケイズテック 車輦内装材製造	石川県白山市
ケーエス染色株式会社 染色加工	石川県能美市
株式会社ヤマトヤ 繊維製品の企画製造販売	大阪市東住吉区
株式会社コマツインターリンク 包装・倉庫・運送	石川県能美市
小松エージェンシー株式会社 物販・総合サービス	石川県能美市



小松精練株式会社

www.komatsuseiren.co.jp/